

Rotary International District 2800

山形西ロータリークラブ会報

会長: 小林 惠一 幹事: 菅原 茂秋

地区目標 「ロータリーの原点に戻ろう」BACK TO BASICS

クラブテーマ
「あなた自身のロータリーを生きる」こころに奉仕と友情の灯をともそう

◆点鐘:小林 惠一会長

◆ロータリーソング:

◆司会: 新藤 幸紀 S.A.A.

◆会場:石巻

第2824回例会

平成30年9月29日(土)

小林 惠一 会長



おはようございます。本来ならば今 日はお休みのところ早朝からこのよう に多くの皆様に参加して頂きありがと うございます。

震災発生当時は、坂部会長年度の 幹事でしたので、鮮明に記憶している のですが、東日本を巨大地震が襲い 直後に通信や電気が止まったことで、 クラブの運営や諸々の対応に追われた

ことを思い出します。

ところで、発生から7年半を経過した被災地はどうなってい るのか、今日は視察をかねて被災者と向き合ってみたいと思っ ています。7年半を経過したとはいえ被災者や避難者は、そ れぞれに悩みやいろいろな事情を抱えている側面もあるように 伺っております。

今日は、そうした被災者、避難者に寄り添い話を聞いてあ げる(聞き役になる)と言ってはおこがましいですが、メンタ ルティーとしては、そうした役割を担えればいいのかなと考え ております。皆さんは、その辺のニュアンスを知り尽くされて いると思いますので、今日は宜しくお願いしたいと思います。

今日一日、最後まで怪我などのないよう元気に目標を達成 したいと思いますので宜しくお願い致します。

社会奉什委員会

武田 秀和 委員長

今回のスケジュールとしては、定刻通り8時半、山形市役所 前をバスで出発しておりまして、予定では10時半前後に現地 の石巻復興住宅付近、中央公園に到着します。そこが芋煮の 会場となっております。

まず、現地に到着後ですが、今回、現地の石巻支援の方と 協力しての企画として、地域住民の方、会長おっしゃられたと おりに復興住宅ができ、それまでの仮設から移って来られた 方が結構いらっしゃいまして、それまである程度、仮設住宅で コミュニティーができた、あるいは、震災前のコミュニティー ができたというところを、それぞれバラバラに復興住宅に移 られて、仮設住宅ごとに移ったわけではない、移ったけれど も、やはり近隣とのコミュニケーションがまだ難しいという方 がおられる。また引っ越したことによって、周りの地理感、土 地勘というのも、まだとれていない方もいらっしゃるというお 話をお聞きしました。それを踏まえて、はじめに近隣の掃除 を行うことで、外に出て、いろいろな方と顔なじみを作るとい う、まずは掃除の企画を進めさせていただきました。その際 に、こちらものほうも掃除に参加しそれぞれ色々なお話をでき ればと思います。

そこで、掃除に参加したときに、周りの石巻の方にお伝えし て頂きたいことというのは、これからやる芋煮会は、やっぱり 山形の風物詩であり、秋になると周りの人とそういったことを 通して、すごい親近感、仲間意識というものを高めるものだと いうことを、秋の風物詩として、石巻の方にも是非、やって欲 しいということを伝えられればということです。積極的に、ア ピールをしていただければと思います。

芋煮は鈴木浩司会員の令夫人、岡崎会員の令夫人と、あと は遠藤会員と、その遠藤会員が所属されている国境なき奉仕 団の方で作るという話で大丈夫なので、まずは皆さんで、掃 除のほうを行いながら、石巻の方とのコミュニケーションを取 りたいと思います。およそ、1時間程度行ったあとに、中央公 園のほうで11時半から芋煮のほうが、ある程度完成したもの がありますので、それを、それぞれブルーシート用意しており ますので、できるだけ、人数をバラけて、石巻の方と一緒に 芋煮を食べながら語らえるような形で分かれていただければ と思います。

それで、一通り食べた後に、せっかく芋煮の楽しさというの ものを山形ではこういうことでやるっているということを語っ ていただいて、そのあとに芋煮の鍋の体験作成を行いますの で、周りの方に積極的に作り方を、こういうことをやるんだ よ、というところを見ていただくように、PRのほうをお願い します。

その芋煮を食べ、芋煮の体験のやり方を見ていただいたあ とに、お楽しみ抽選ということで、山形の特産品をご用意し たので、参加した石巻の方に楽しんでいただいて、山形に馴 染みというのを持っていただきたいと思います。

それが終わってご馳走様をするのが12時半。そこから、片 付けをして、1時くらいに会場をあとにしたいと思います。会場 をあとにしたあと、新しく石巻の名産品を販売する「いしのま き元気いちば」というお店が出来つつあるので、そちらに立 ち寄ります。

この「いしのまき元気いちば」は、これから新しく復興する にあたって、どういうお店の名前がいいか、石巻の方が付けら れたんですけれども、ちょうど山形のほうにも高橋畜産さん の 「元気市場たかはし」というところがあるのを知って、わざ わざ山形までいらっしゃって、石巻にもこういう名前のお店を 作るということを、高橋畜産さんに相談したという件もありま

■例 会:毎週月曜日 12:30 ~ 13:30 ■会 場:大沼デパート 7F ローズルーム TEL:622-7111 ■事務局: 山形市十日町 1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル 2F TEL: 632-7777 FAX: 624-5200 す。是非、石巻の「いしのまき元気いちば」を見ていただけ ればというところです。

皆さん方にはやっぱり、今回の目的として、是非、来年には 石巻の方の新しいコミュニティーを作って、自分たちで芋煮会 というものを開催して欲しいという旨、やはり、山形の芋煮会 というものを体験する場というのを改めて提案できればという ところが今回の目的となります。是非皆さま、その良さという のをPRしていただければと思います。



石巻復興支援芋煮会



あいさつ 小林 惠一会長

みなさんこんにちわ。只今ご紹介頂きました私、山形西ロータリークラブ会長の小林です。

今日は、クラブの会員と共に、国境なき奉仕団の協力を得て皆様に山形の「芋煮」を提供させて頂くため参加させて頂きました。これまで過去4回、山形にみなさんをお招きして「復興支援芋煮会」を開催してきましたが、今回は皆さんの住む現地がその後、どうなっているかを視察させて頂く目的もかね出向いて参りました。クラブとして、被災者の心の復興に繋がる支援を目指し継続してきておりますが、皆さんには「日常生活のリズムを取り戻して頂くこと」が一番大切なことだと考えております。

この広場の周囲には、立派な復興住宅やアパートが立ち並んでいますが、大事なのは、そこに住む人たちのコミュニティ「人のつながり」だと思います。

山形では、秋の風物詩「芋煮会」が、今盛んに行なわれています。職場や会社、町内会など親しい仲間が野外で鍋を囲み楽しんでいます。

今回は「作り方」を伝授するプログラムが入っていますので、 是非皆さんも自分たちで「芋煮」を作り楽しんで頂きたいと思い ます。今日は、山形の風物詩「芋煮」を堪能して頂きたいと思 います。













































球風会

平成30年9月30日(日) 山形ゴルフクラブ





















 優 勝
 高嶋
 俊幸

 準優勝
 横山
 正己

 3 位
 高橋
 勝治

 4 位
 米本
 満

 5 位
 髙橋
 順弘



<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (9/29)	98名	25名	修正出席 (9/3)	98名	89名	85名	95.51%
メークアップ された会員	(イブニング) 清野 (山形中央) 酒井 (山 形) 五十 (山形南) 伊藤 大城	啓孝、澤渡 嵐 信、中山 り 歩、結城 和	章、武田)良和、	後藤 光政、石井 五十嵐 信、風間 浦口 太門、五十	義朗、戸田(成司 圭瑞 秀和、澤渡 章	、後藤 光政、
	(山形中央)髙橋	勝治、酒井	8孝、中山 眞一、	結城 和生、橋本	、 徳光、大西 章	章泰、後藤 光政	、武田 周治
	(山形北)中山	眞一、長岡	壽一、市川 秀徳、	鈴木 隆一、佐藤	吉博、伊藤	養彦、石井 雅浩	、清野 伸昭、
	澤渡	章					